

# 函館市医療・介護連携『施設看取り研修会』

～介護施設等での看取りケアの取り組み～

(株)メディカルシャトー

地域密着型特定施設介護付き有料老人ホーム白ゆり乃木

生活相談員 大黒玲央奈

---



# 本日の流れ

1. 施設の概要
2. 施設の看取りケアについて
3. ご本人の看取りケアで主に取り組んだ内容
4. ご本人・ご家族へのアプローチ
5. 職員間・医療機関とのアプローチ
6. 看取り後のケア
7. 職員のメンタルサポート
8. 今後、取り組みたいこと



白ゆり乃木の  
看取りケアの  
イメージ像を理解

「施設」における  
「看取りケア」の  
実態を知って頂く



# (株) メディカルシャトー 白ゆりグループ 函館地区

## ライフプレステージ白ゆり美原

- 住宅型有料老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービス
- ヘルパーステーション
- 居宅介護支援事業所
- 訪問看護リハビリステーション(神山)

## ライフプレステージ白ゆり乃木

- 地域密着型特定施設  
介護付き有料老人ホーム
- ショートステイ
- デイサービス
- ヘルパーステーション(サテライト)
- 訪問看護リハビリステーション(サテライト)

札幌と函館で介護と医療の融合を目指して邁進中

## ライフプレステージ白ゆり富岡

- 介護付き有料老人ホーム
- グループホーム
- デイサービス

## ライフプレステージ白ゆり北斗

- ショートステイ
- デイサービス

## 高齢者サロン

- ふらっとDaimon

H28年5月開設

## 地域密着型特定施設

# 介護付き有料老人ホーム白ゆり乃木について

- 函館市に住所を有し、要介護度1～5までの方が入居対象
- 居室数は全29床(現在、男性:3名/女性:26名入居中)
- 平均介護度・平均年齢→要介護**3.1**/**90.8**歳
- **看取りの指針・マニュアルあり**



乃木に勤務しているスタッフが入居者様の日常生活をサポート  
毎日、体操やレクリエーションを実施している

# 介護付き有料老人ホーム白ゆり乃木の概要



## ★白ゆり乃木の職員体制(令和元年9月時点)

職種	人数
管理者(兼看護師)	1名
看護師 (機能訓練師含む)	2名
生活相談員	1名
介護支援専門員	1名
介護職員(パート含む)	12名
介護アシスタント	4名

全スタッフ21名勤務

日中:7~8名

夜間:2名

(※介護スタッフのみ)



日中は看護師常駐  
(必ず1名勤務)

夜間はオンコール対応

# 介護付き有料白ゆり乃木～看取りケア概要～

- 協力医療機関(内科)は西堀病院と高橋病院
  - 協力医療機関(歯科)はさいとう歯科診療室
  - これまで看取りケアの実施は4名(※H30年で、4名とも女性)
  - →4名とも協力医療機関の訪問診療を受けられていた
- 白ゆり乃木の看取りを  
全面的にサポート

## ケアカンファレンスの実施

連携体制の強化

協力医療機関

職員間

- ◆ 協力医療機関との情報共有
- ◆ ケアカンファレンスの実施
- ◆ 「看取りケア」に対する職員間研修の実施

# 介護付き有料白ゆり乃木～看取りケアの流れ～

- ① ご本人様・ご家族様より希望を伺う
- ② 看取りケアの指針・**事前確認書**・同意書の内容を説明
- ③ 看取りケア同意書にサインを頂く
- ④ 協力医療機関(内科医)へ報告し、サインを頂く

希望内容の  
変更可能！

## ★看取りケアにあたって…

「看取り介護計画書」

「終末期ケアにおける確認事項」

「看取りケア」の同意後、  
ケアの方向性や  
対応の仕方について  
確認の為、作成し  
ご家族様へ  
記入して頂いている

# 看取りケアにおける「事前確認書」の記入

～いくつかの質問項目あり、記入後の変更も可能！～

- ✓ 終末期を迎えたい場所について
- ✓ 積極的な延命治療の希望の有無
- ✓ 急変時に病院への搬送を希望か
- ✓ 病状についてご本人に説明する有無



初めは「現段階」での  
要望をもとに記入を依頼  
ご本人の状態変化に  
応じて変更可能

延命治療  
希望の例

- ① 心臓マッサージ等の心肺蘇生
- ② 胃ろう・鼻チューブによる栄養投与
- ③ 点滴による水分補給
- ④ 人工呼吸器の使用
- ⑤ 人工透析

ご本人・ご家族の  
様々な選択肢を  
狭めないよう配慮！

# 白ゆり乃木～A様看取り事例～

看取り対応者：A様、女性、94歳、**要介護4**

ご家族様(**キーパーソン**): 妹様ご夫婦(**主は妹様**)

生活暦：結婚暦なく、早くに他界した母親代わりとして兄弟を支えていた

化粧品販売をされており、仕事熱心な方であった

運動や三味線が得意で、プライベートも充実されていた

晩年は妹様ご夫婦宅で同居されていたが、介護が必要となり入居へ

## ご本人の 人物像

- ◆ **口腔ケア・洗面・化粧品に強いこだわりあり**
- ◆ 甘いものが好きで、筆談を用いての会話も
- ◆ 入居者様・スタッフの名前を直ぐに覚えて下さる方

# ～A様の看取りにおける経過～

精神症状悪化にて、介護拒否あり

(※**幻覚・幻聴あり、不穏時薬服用も**)

スタッフへ  
叩く・つねる等の  
暴力行為も増加

食事・水分の摂取が減り、ベット上での生活が数日続く

低栄養にてB病院へ入院

水分・食事摂取量にムラが出始める

主治医より、**ご家族と今後の治療方針についてカンファレンス**

H30年8月19日(日)

「施設」での看取りを希望～契約し同意のもと、ケア開始

# ご本人やご家族に対するアプローチ

ご本人様・ご家族様の看取りケアの要望は、



それぞれの  
要望と想い

**「入院や点滴・延命は一切行わないでほしい」**

ご本人:「延命しないでほしい」

(ご家族へ意向を書くとの話も)

ご家族:「本人の意向を尊重している」

「本人は白ゆりが好きだから、自由に」

「病院嫌いの為、施設で最期を迎えてほしい」

**「施設での生活の継続」**がご本人の何よりの希望

ご本人が望む、最大限のケアの提供を検討し実施



# ご本人のケアで取り組んだ事

## ～身体的アプローチ～

➤ **主治医指示のもと、ご本人が好み召し上がられるものを提供**

→(お菓子・甘酒等)

➤ 水分補給が難しい際には…

→「**口腔ケアスポンジ**」に**ジュースやアイス**をつけて提供

※**口腔内を湿らせて**、好きな甘味を感じられるように

➤ こまめな飲食後の口腔ケアの実施

→誤嚥防止も目的に

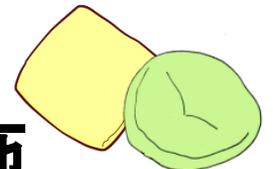
➤ 褥瘡防止の為の体位変換に拒否がある時は…

→看護師の主導のもと、クッションの利用や除圧を実施

①食事提供の強要は×  
ご本人の意向に配慮



②口から食べる楽しみを  
尊重し、随時対応





# ご本人のケアで取り組んだ事

## ～職員間でのアプローチ～

報告

連絡

相談

職員間での  
「情報格差」防止

● 朝礼・申し送りノートでの情報共有

● ケース会議での話し合い

ケア過程における課題の明確化

● ご本人の状態・ご家族との関わりを細部まで記録

ケアに活かすヒントを見つける

介護・看護スタッフ間で  
声を掛け合い、情報の食い違いがないよう努めた



# ご本人のケアで取り組んだ事

## ～医療機関とのアプローチ～



### ①内科協力医療機関：B病院

→随時、状態報告

介護と看護でできる  
ケアについて助言

医療機器がない施設での対応や関わり方について相談

### ②歯科協力医療機関：C歯科診療室

→ご家族様と相談し、往診へ(※ご本人の介護拒否ある為)

スタッフも「口腔ケア」の指導を医師より受けた

口腔ケアのこだわりにて拒否があったが...

歯科医師による口腔ケアは拒否なく行えた

感染症予防の  
目的もかねて！



**B病院・C歯科診療室の全面的なサポートが濃い看取りケア**

# 看取りケア後のかかわり

ご本人の日課であり、  
こだわりのあった化粧の対応

## ◆ ご本人様: エンゼルケアの実施

→ 身体の清拭・衣服への更衣・化粧

## ◆ ご家族様: ご本人の状態変化(急変)の連絡

→ 到着後、ご本人の状態報告

到着前に逝去された際の、最期の状態について  
お伝えする

ご家族様の  
反応

職員で行ったご本人への化粧を気に入られ  
「本来のご本人の姿だった」とのお言葉を頂いた



# 職員の看取りにおける不安要素

職員の不安感

入居者様の  
死と向き合う恐怖

容態変化時の  
対応について

夜間、看護師が  
いないこと

職員から上がった声が多かったのは……

**「夜間、呼吸停止された際の対応」**

「看取りケア」に対するプレッシャーが大きな不安要素へ



# 職員のメンタルサポート

## 不安の声

- 新人職員より夜勤の時が不安
- 自分に何ができるかわからないと不安
- 容態が予測できない事の不安



「不安感」を声に出し  
想いをスタッフ間で共有

## ★看護師からのアプローチとサポート

- 看護師にて普段・急変時に確認する項目をまとめた  
「バイタルサイン表」の作成→「誰もがわかる場所」に設置
- 「些細な事でも報告を」と伝え、看取りケアに対する日々の相談や  
意見交換の場を時間をつくって設けた

介護・看護の間の壁を取り除く

# 今回の看取りケアで留意した点

- ご本人・ご家族の意思・要望を尊重
- ご本人の身体状態に配慮し、「痛み」を和らげるケアを提供
- 協力医療機関との連携の強化
- 職員間での連携強化の為、「相談しやすい環境づくり」を  
全員でつくるよう努めた

チームケアの充実！



「1人ではなく、職員全員でケアを提供する」との認識で  
同じ方向を向いて協力・連携し合う看取りケアを  
目標とした

## 今後、施設で取り組みたいこと

- 今後の看取りケアの為、4事例の検討会を開催
- 看取りケアの職員勉強会の実施
- 看取りケアの個々スタッフの想いについて再度、意見交換を行う



看取りケアに明確な正解はなく

ご本人やご家族の想いを汲み取り、

その方らしい最期を迎えるサポートを行うのが  
施設職員の大きな役割





# 看取りケアの振り返り

ご本人を支える資源をフル活用！

ご家族様への  
情報提供・共有



医療機関との連携



職員間での連携  
情報共有

= その人らしい看取りケアへ

一人ひとり看取りのケースは違う為、不安も感じる  
どのケアにおいてもだが、職員間の連携体制の強化が  
より良い「施設における看取りケア」に繋がる

# 介護付き有料老人ホーム白ゆり乃木



ご清聴ありがとうございました